

国際シンポジウム International Symposium

科学と工学を目指す女性へ Women in Science and Engineering

近年、日本の女性就労率は、特に 20 代後半や 30 代前半の層で、確実に上昇してきました。しかし、職場における男女格差は未だ根強く残っています。本シンポジウムでは、キャロル・セロン博士（カリフォルニア大学アーバイン校教授・学部長）を基調報告者としてお招きし、科学や工学の分野における男性中心の文化がいかにより女性が専門家になる社会化のプロセスに影響し、その結果、これらの領域の女性たちがどのように不利な立場に陥るかについてお話しいたします。理系、工学系に限らず、文系、社会科学系の皆さんも、ふるってご参加ください。

司会者 Moderator

アン・ウォルソール (ジェンダー研究所 特別招聘教授)
Anne Walthall (IGS, Ochanomizu University)

基調講演 Keynote Speech

キャロル・セロン (カリフォルニア大学アーバイン校・教授)
Carroll Seron (University of California, Irvine)

Persistence is Cultural: Professional Socialization and the Reproduction of Sex Segregation

パネリスト Panelist

鷹野景子 Keiko Takano (お茶の水女子大学・教授、Ochanomizu University)
加藤美砂子 Misako Kato (お茶の水女子大学・教授、Ochanomizu University)

コーディネーター Coordinator

石井クンツ昌子 (ジェンダー研究所所長、お茶の水女子大学・教授)
Masako Ishii-Kuntz (Director of IGS, Ochanomizu University)

日時：2016年 **1月18日** (月) 18:10～20:20
Date: Monday, January 18, 2016, 18:10-20:20

会場：**お茶の水女子大学本館 306号室**
Venue: 306, Main Building, Ochanomizu University

要事前申込・参加費無料

(ジェンダー研究所ウェブサイトの申込フォームか QR コードからお申し込み下さい)

Admission Free, Registration at <http://www.igs.ocha.ac.jp> or QR code

同時通訳あり

Japanese-English simultaneous interpretation available

